

製品名: SEMA3F ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17716**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	88kDa

抗原情報

遺伝子名	SEMA3F
別名	SEMA3F; Semaphorin-3F; Sema III/F; Semaphorin IV; Sema IV
遺伝子 ID	6405.0
SwissProt ID	Q13275
免疫原	抗血清はヒト SEMA3F 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 734-783

背景

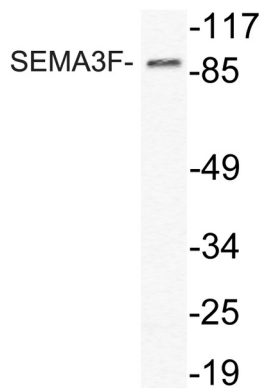
この遺伝子は、神経細胞の発達における軸索誘導に関与する分泌シグナル伝達タンパク質であるセマフォリン III ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、N末端の Sema ドメイン、免疫グロブリンループ、および C末端の塩基

性ドメインを含みます。この遺伝子は内皮細胞で発現し、オートクリン様式でアポトーシスを誘導し、細胞増殖と生存を阻害し、抗腫瘍剤として作用することが示されています。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2016年1月], 発生段階: 胎生 10 日目から検出される。、機能: 細胞運動および細胞接着に関与する可能性がある。、類似性: セマフォリンファミリーに属する。、類似性: Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを 1 つ含む。、類似性: Sema ドメインを 1 つ含む。、組織特異性: 様々な神経組織および非神経組織で豊富に発現するが、発現レベルは異なる。乳腺、腎臓、胎児脳、肺で高い発現が見られ、心臓および肝臓では低い発現が見られる。、

研究分野

軸索ガイダンス;

画像データ



SEMA3F 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。